

第 51 回 (2022 年度)
九州臨床検査精度管理研究会
精度管理調査
(2022 年 9 月)

生化学部門 (尿検査・血球数算定・凝固検査・生化学検査・血漿蛋白・蛋白分画検査・HbA1c)

血清部門 (イムノアッセイ・免疫血清・輸血関連検査)

生理検査部門 (生理検査)

精度管理調査手引書

九州臨床検査精度管理研究会

第 51 回（2022 年度）九州臨床検査精度管理調査について

拝啓

貴施設には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。この度は、九州臨床検査精度管理研究会にご賛同いただき、本調査への参加を賜り、誠にありがとうございます。

本研究会は本年をもちまして 51 回目を迎えることと相成りました。本年より Web 精度管理システムを刷新し、尿検査、血球数算定、凝固検査、生化学検査、血漿蛋白、蛋白分画検査、HbA1c、イムノアッセイ、免疫血清、輸血関連検査、微生物検査及び生理検査の調査を実施しております。本研究会は、臨床検査における精度管理の質的向上と啓発を図る事を目的としております。この主旨をご理解いただき、今後ともご協力いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

2022 年 9 月

九州臨床検査精度管理研究会

精度管理調査・研究会について

- 【目的】 臨床検査における精度管理の向上と啓発を図ることを目的としております。
- 【対象】 この調査・研究会は九州全県下の各官公私立病院・診療所・検査施設、医師会臨床検査センターおよび登録衛生検査所を対象として行います。
- 【入力サイト】 以下のサイト(Web 精度管理システム)にて、測定条件・測定値の入力をお願いいたします；
<https://seidokanri.kyushuqc.com/shisetsu/>
- 【報告締切】 **2022 年 9 月 16 日(金)締切厳守**
測定条件・測定値等は Web 精度管理システムへ入力していただきます。
上記システムへアクセスの際は参加登録時に使用した施設 No.とパスワードが必要です。
今年度新規参加のご施設は、参加登録後に事務局より送信する「施設登録完了メール」にて施設 No.とパスワードをご案内しております。
- 【集計結果】 各施設より回答された成績を集計解析後、結果を回答施設に報告します。
- 【報告会】 下記日程にて研究会の報告会を開催します。
2023 年 2 月 19 日(日) 九州大学医学部 百年講堂（予定）
計画の変更等が発生いたしましたら、弊社 Web サイト(<http://www.kyushuqc.com/>)にて随時告知いたしますので、適宜ご確認ください。
- 【その他】 輸血検査参加施設向けの「輸血検査精度管理参加施設アンケート調査」は、報告締め切りまでに Web 精度管理システムにて回答入力してください。
- 【問合せ先】 九州臨床検査精度管理研究会 事務局 担当：木村 由美子・村田 美香
FAX：095-819-7983 E-mail: secretariat@kyushuqc.com

配布試料取り扱い上の注意事項

- ご注意1： 各試料は患者プール血清より作製したものですので、感染性の危険があるものとして取り扱いおよび廃棄については、厳重なる注意をして下さい。
- ご注意2： 試料8、34で血球数算定の集計を行います。試料はヒト新鮮血ですので、試料が到着した日に血球数算定の測定を行って下さい。

<生化学部門>

【生化学検査】

- 試料1、3は凍結液状試料です。
試料1、3は到着直後に測定できない場合はディープフリーザーに保存し、測定時に水道水で完全に溶解してから転倒混和し、冷蔵庫内で1時間放置後3時間以内に測定してください。
再凍結保存は避けてください。
- 脂質は試料1、3の2試料を測定して下さい。
- 電解質は試料1、3の2試料を測定して下さい。
- 今年度より、免疫グロブリンが試料1、3に変更となりましたのでご注意ください。
今年度より NH_3 は評価対象項目と致します。参加申込時にご案内不足で申し訳ありませんが、ぜひ測定および測定値の入力をお願いいたします。
また、 NH_3 は開栓後ただちに測定するようにしてください。
機器、試薬および標準物質につきまして、「その他」を選択された場合は、詳細を「データ入力」ページ下部のコメント欄にご記載ください。

【血球数算定・HbA1c】

- 試料5はHbA1c用全血試料です。
測定前に室温にもどし、下記の表を参考にそれぞれの測定条件にあわせて測定してください。
- 試料8は血球数算定とHbA1cの全血試料が1mL入っています。
血球数算定は到着後、測定前に室温にもどし、泡立たないようによく転倒混和し速やかに測定して下さい。速やかに測定できない場合は温度管理された冷蔵庫(2～8℃)に保存してなるべく早く測定してください。
HbA1cは測定前に室温にもどし、下記の「メーカー別 試料調整方法 一覧表」を参考にそれぞれの測定条件にあわせて測定して下さい。
- 試料34は血球数算定の全血試料が1mL入っています。
到着後、測定前に室温にもどし、泡立たないようによく転倒混和し速やかに測定して下さい。速やかに測定できない場合は温度管理された冷蔵庫(2～8℃)に保存してなるべく早く測定してください。

○ メーカー別 試料調整方法 一覧表

※代表的な例ですので詳細は販売・製造元に確認してください。

メーカー名	機器・試薬	試料の調製方法
東ソー株式会社	HLC-723G8 HLC-723G9 HLC-723GX HLC-723G11	試料をボルテックス等で良く攪拌後、サンプルカップに5 μ L入れたのち、装置左側に付属の「溶血・洗浄液」1 mlを加え(201 倍希釈)、良く混和させて希釈サンプル（キャリブレーションやコントロールと同様の扱い）として測定してください。 ※ 測定結果に AREA HIGH(サンプルが濃すぎる) や、AREA LOW(サンプルが薄すぎる) の表示がないことを確認してください。表示がある場合には、希釈倍率を調整してください。
アークレイマーケティング株式会社	HA-8180 HA-8181 HA-8182 AH-8290 HA-8180V HA-8180THA-8190V HA-8380 HA-8380V HA-8410	●HA-8410 の場合 全血試料をそのまま用います。日常検体と同様に測定を行ってください。 ●HA-8180、HA-8181、HA-8182、AH-8290、HA-8180V、HA-8180T、HA-8190V の場合 全血試料をメーカー指定の希釈液（溶血洗浄液）にて以下の倍率で希釈し、溶血モードにて測定を行ってください。 希釈倍率：101 倍 ※希釈時の目安（101 倍希釈＝サンプル 1：希釈液 100 の割合で混和） 例）サンプルカップ等に全血試料 5 μ L、希釈液 500 μ L を加え、良く混和してから測定に用います。 ●HA-8380、HA-8380V の場合 全血試料をメーカー指定の希釈液（溶血洗浄液）にて以下の倍率で希釈し、溶血モードにて測定を行ってください。 希釈倍率：161 倍 ※希釈時の目安（161 倍希釈＝サンプル 1：希釈液 160 の割合で混和） 例）サンプルカップ等に全血試料 5 μ L、希釈液 800 μ L を加え、良く混和してから測定に用います。 全ての測定結果において、A0Area が日常検体の測定と同等の適正な範囲（25000～60000）に入っていることを確認してください。上記範囲外の場合には、再度希釈倍率を調整後、再測定を行ってください。
	SI-3610 SI-3620	全血試料をそのまま用います。日常検体と同様に測定を行ってください。
	サンク HbAlc	全血試料を精製水にて 26 倍希釈したものをコントロールと同様の方法にて測定を行ってください。Hb 濃度は 90 μ mol/L 付近であることを確認し、大きく乖離している場合は再度希釈倍率を調整後、再測定してください。
	The Lab 001	全血試料をそのまま用います。日常検体と同様に測定を行ってください。
バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社	D-100	希釈洗浄液にて 201 倍希釈してから測定してください。

積水メディカル株式会社	グリコヘモグロビン分析装置 RC20	試料は希釈せずに測定します。検体測定デバイスで試料を吸引して装置にセットし、日常検体と同様に測定を行ってください。
	ノルディア N HbA1c、 (RE) ノルディア N HbA1c、 HbA1c オート「TBA」	全血試料を遠心分離 (800×g, 5 分) します。血球 25 μ L を採取し、ノルディア N HbA1c 用 HbA1c 前処理液 500 μ L に加えて混和してください (21 倍希釈)。溶血済み試料として測定を行ってください。 ※よく混和のこと。 ※ノルディア N HbA1c および (RE) ノルディア N HbA1c はヘモグロビン濃度 90~310 μ mol/L の時に最適な測定値が得られます。 ※ヘモグロビン濃度が測定範囲外の場合は希釈倍率を調整してください。詳細は製造販売元にお問い合わせください。
	L タイプ ノルディア N HbA1c	<ラボスペクト 006 の場合> 全血試料を遠心分離 (800×g, 5 分) します。血球 20 μL を採取し、L タイプ HbA1c 前処理液 500 μL に加えて混和してください (26 倍希釈)。溶血済み試料として測定を行ってください。 ※よく混和のこと。 ※ヘモグロビン濃度 100~200 μmol/L の時に最適な測定値が得られます。 ※ヘモグロビン濃度が測定範囲外の場合は希釈倍率を調整してください。 <ラボスペクト 003、008、008 α の場合> 全血試料を遠心分離 (800×g, 5 分) します。血球 25 μL を採取し、L タイプ HbA1c 前処理液 500 μL に加えて混和してください (21 倍希釈)。溶血済み試料として測定を行ってください。 ※よく混和のこと。 ※ヘモグロビン濃度 130~260 μmol/L の時に最適な測定値が得られます。 ※ヘモグロビン濃度が測定範囲外の場合は希釈倍率を調整してください。
ミナリスメディカル (日立化成ダイアグノスティックス・システムズ)	デタミナー L HbA1c	700 ×g、2 分で遠心分離後、下層よりサンプリングし精製水で 101 倍希釈してください。
	メタボリード HbA1c	800 ×g、5 分で遠心分離後、下層よりサンプリングし精製水で 41 倍希釈してください。Hb 濃度が 80~170 mmol/L を逸脱する場合は、Hb 濃度が 80~170 mmol/L の範囲に入るように希釈倍率を調整して下さい。
富士レビオ株式会社	ラピディアオート HbA1c-L	通常検体と同様に 700~1000 ×g、2 分で遠心分離後、赤血球部分を採取して検体希釈用液または注射用滅菌蒸留水にて 101 倍に希釈、溶血させて測定用試料としてください。 例) 遠心後赤血球部分 5 μ L (または 10 μ L) + 検体希釈用液 500 μ L (または 1mL)
	AU-シンクロン試薬 HbA1c	AU680、DxC700AU にてオート測定法を使用される場合は、ベックマン・コールターにお問い合わせください。オート測定法以外の場合には、通常検体と同様 101 倍希釈を行い測定してください。
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	コバス試薬 HbA1cIII 全血モード	全血試料をそのまま使用します。検体は使用前に十分に混和して下さい。溶血モードで測定する場合、全血試料を十分に混和後、専用の溶血試薬にて 71 倍希釈して測定してください。

	コバス b 101 用 HbA1c 測定試薬ディスク	全血試料をそのまま使用します。試料を転倒混和後、希釈せずに測定してください。
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社	ビトロスマイクロチップ HbA1c	全血試料をそのまま検体測定と同様に測定してください。
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社	フレックスカートリッジ HbA1c キット DCA2000HbA1c カートリッジ アテリカ CH HbA1c(A1c)	転倒混和後、希釈せずに測定してください。
	アテリカ CH HbA1c-E	転倒混和後、日常検査と同様に測定してください。
日本光電工業	CHM-4100・セルタック ケミ HbA1c	試料を十分に転倒攪拌し、希釈せずに精度管理メニューで測定してください。
	MEK-1303・セルタック ケミ HbA1c N	
ニッポーボーメディカル株式会社	N-アッセイ LA HbA1c ニッポー	全血試料を注射用滅菌蒸留水で 51 倍に希釈してください。
堀場製作所	バナリスト HbA1c	全血試料をそのまま用います。日常検体と同様に測定を行ってください。
日本電子株式会社	BM テスト HbA _{1c}	検体をルーチン検体と同条件の 800×g、5 分で遠心分離を行います。 BM テスト HbA_{1c} 前処理液 500 μL に、遠心した検体の下端からおおよそ 2-3 mm 部分の血球を 25 μL 加え、よく混和し希釈検体を作成します。この試料をコントロールポジションあるいは溶血済みポジションで測定します。 ※ Hb の測定結果が 90-310 μmol/L であることを確認し、外れた場合は、BM テスト HbA_{1c} 前処理液の希釈倍率を変更し、適正濃度に試料を再調整してから測定してください。
東洋紡	チェックカート HbA1c	泡立えないよう注意してゆっくりと混和し、希釈せずに測定してください。
ラジオメーター株式会社	HemoCue HbA1c 501	全血検体は、希釈せず十分に転倒混和した後、希釈せずに、スポイトなどで撥水性の表面上に 5 μ L 程度の血液滴を落としてカートリッジに取り込んでください。

【蛋白分画検査】

- 試料 6 は、蛋白分画用液状試料です。蛋白分画は試料 1、6 の 2 試料を測定して下さい。
試料 1、6 の結果報告の際、診療科へのコメントを“診療科へのコメント”欄に記載してください。
試料 6 の各濃度は、総蛋白(7.5 g/dl)、アルブミン(4.2 g/dl)、IgG(2,017 mg/dL)、IgA(158 mg/dL)、IgM(47 mg/dL)、C3(99 mg/dL)、C4(16 mg/dL)でした。

【尿検査】

- 試料 9、10 は試料安定性を確保するため凍結した尿検査用試料です。室温に戻して溶解し、よく攪拌した後、速やかに測定して下さい。
- 尿沈渣フォトサーベイは、画像・設問とも Web 精度管理システム上に掲載いたします。Web 精度管理システム上でご確認いただき、ご回答ください。

【血漿蛋白】

- 試料 12、13 は補体、RF 測定用液状試料です。今年度より、免疫グロブリンは試料 1、3 となりますのでご注意ください（前年度とは試料番号が異なります）。
フィブリン様の析出物などが認められた場合は、3000rpm、5 分間または 2000rpm、10 分間遠心した後の上清を用いて測定して下さい。

【凝固検査】

- PT、APTT、Fib とともに日常法で測定して下さい。
- PT は秒、%、INR をそれぞれ入力して下さい。APTT は秒、Fib は mg/dL で入力して下さい。
- 試料 31、32 は凝固検査用試料です。凍結乾燥粉末で内部は真空となっています。
静かにゴムキャップを持ち上げ、空気を徐々に入れ常圧にしてから外して下さい。
- 試料 31、32 に蒸留水 1mLを加えて溶解し、室温で 30 分放置します。
溶解後は測定まで冷所(2～8℃)に保存し3 時間以内に測定して下さい。
測定機器のトラブルで時間経過が生じた場合は事務局までご連絡下さい。
- 測定機器、測定試薬はプルダウンリストより選んで下さい。その他を選んだ場合は製品名、メーカー名を明記して下さい。

<血清部門>

【イムノアッセイ】

- 試料 15、16 は凍結液状試料です。到着直後に測定できない場合はディープフリーザーに保存してください。測定の際に水道水で完全に融解し、転倒混和後、冷蔵庫内で 1 時間放置した後に測定してください。放置後 3 時間以内に測定してください。再凍結保存は避けてください。
融解後にフィブリン様の析出物などが認められた場合は、3000rpm、5 分間または 2000rpm、10 分間遠心した後の上清を用いて測定して下さい。
- 院内で検査を実施していない場合は外注検査の結果を報告されてもかまいません。(試料 15, 16)

【免疫血清】

- 試料 41、42 は梅毒 T P 抗体測定用試料で冷蔵液状試料です。到着後すぐに測定できない場合は冷蔵保存し、測定時は十分に転倒混和を行って下さい。
- 試料 43、44 は HB s 抗原、HCV 抗体測定用試料で凍結乾燥試料です。蒸留水 1.0mLを加えて溶解して下さい（振らないこと。緩やかに転倒混和してゴムキャップに付着している内容物も溶解して下さい）。到着直後に測定できない場合は冷蔵以下にて保存して下さい。溶解後は、冷蔵庫内で 1 時間放置後 3 時間以内に測定してください。
- 試薬名・機器名は、プルダウンリストから選択して下さい。機器メーカーの頭文字を入力するとプルダウンが選択できます。
- 定性の入力は「陰性」「陽性」「判定保留」「その他」をプルダウンリストより選択して下さい。また、「判定保留」「その他」を選択した場合は「備考」欄にその理由を入力して下さい。
- 判定結果に対しての評価を実施いたします。評価基準は以下のようになります。

A：正解	陽性・陰性の判定が正しくできている。
B：許容範囲	判定保留等
C：非許容範囲	測定値とそれより導かれる判定結果に乖離が見られる。 カットオフ値と判定結果に乖離が見られる等
D：不正解	陽性・陰性の判定が正しくできていない。
E：評価対象外	※ 評価コメント参照

【輸血関連検査】

- 試料 21-A は想定患者血清、21-B は 想定患者 3%アルセバー血球浮遊液、22-A、22-B、22-C は供血血液セグメントチューブです。
- 昨年度より業務時間内、時間外の区別はありません。業務時間内の方法、もしくは、業務で多く使用する方法などでの回答をお願いします。
- 試料 51 は福岡県医師会精度管理調査にご参加の施設のみ測定して下さい。（ABO 血液型、RhD 血液型検査試料です）

<検査方法>

試料 21 で血液型検査と不規則抗体検査を実施して下さい。また試料 22-A、22-B、22-C（RBC-LR2 単位製剤に相当）とのクロスマッチを実施して下さい。結果は、輸血検査結果入力各欄にあるプルダウンリストから選択して下さい。

なお、検体作成には細心の注意をはらっていますが、フィブリン析出や溶血時には遠心・洗浄等行ってから使用して下さい。

ABO 及び RhD 血液型反応は、反応強度欄より凝集の強さを選択して下さい。

不規則抗体の反応強度は最も強い反応を示した血球の強さを選択して下さい。

不規則抗体判定「陽性」で抗体同定不参加施設は同定抗体名欄に「不参加」を選択して下さい。

報告方法の詳細につきましては、参加施設ログイン画面（施設 ID・パスワード入力画面）下の「入力マニュアル」内 12～13 ページの輸血関連検査に関する手順をご参照ください。

- ※ Web 精度管理システムのホーム画面（施設 ID・パスワード入力後のページ）に、輸血検査精度管理参加施設向けのアンケート調査を用意しております。輸血検査の精度管理に参加した施設は、必ず上記アンケートにご回答をお願いいたします。

<生理検査部門>

【生理検査】

- 生理検査フォトサーベイは、画像・設問とも Web 精度管理システム上に掲載いたします。Web 精度管理システム上でご確認いただき、ご回答ください。

<サーベイ実施方法及び注意事項>

【参加項目の確認】

- 参加登録時に申込した項目のみ測定条件・回答入力出来ます。
参加登録した項目と異なる場合は、九州臨床検査精度管理研究会事務局までご連絡をお願い致します。

【測定条件・測定値入力】

- 測定条件・測定値等は、Web 精度管理システムに入力して下さい。
なお、今年度はシステムの刷新に伴い、測定条件（試薬、測定方法、標準物質等）の入力が必要となります。（*のついた項目は入力必須）。昨年度参加施設については、前年度の内容が表示されますが、今年度よりシステムの仕様が一部変更となっております。（項目ごとに検量方法の選択肢が表示される仕様となっております。）昨年度登録されたご施設も測定条件の再確認をお願い致します。
測定条件・測定値入力の詳細につきましては、参加施設ログイン画面（施設 ID・パスワード入力画面）下の「入力マニュアル」をご参照ください。
- 測定単位は指定の単位での報告となりますので、結果入力時には十分にご注意下さい。
- 測定値は指定の桁数での報告となりますので十分にご注意下さい。
- 機器名については、機器メーカー名を選択後、プルダウンリストより選択してください。
プルダウンリストには九州臨床検査精度管理研究会ホームページ上の「臨床検査精度管理調査測定装置コード表（2022 年 6 月）」に記載されている機器名が登録されております。

<評価について>

1. 生化学項目

下記のうち、最も大きい幅を示すものを目標範囲として評価します。

- A) ワーキンググループ各施設の施設間 2SD、
- B) 日本臨床化学会のガイドラインに則した B_A%（上限 5%）
- C) 各項目の最小報告値

HbA1c は目標値±0.2%とし評価します。

併せて、測定原理別の SDI（Standard Deviation Index）を参考評価として報告します。

2. 凝固項目

- 1. PT(INR)は、試薬別および ISI 値区分別（「メーカー設定値採用」と「自施設にて設定」）で評価します。
- 2. APTT、Fib は、試薬別で評価します。
- 3. ±3SD 以内は評価 A、評価 A 以外は評価 D とします。
- 4. 評価対象は施設数 10 以上とします。

3. 一般（尿）、免疫血清、感染症、イムノアッセイ、輸血

- ① イムノアッセイ項目（腫瘍マーカー・内分泌・IgE）は、試薬製造メーカーが目標値を定め、目標値±10%で評価します。
- ② 報告書では上記項目についての統計結果を報告し、回答状況や問題点の解析をいたします。

4. 蛋白分画

キャピラリー電気泳動で測定した施設については平均値による評価を行います。

◎ 調査項目一覧表 (1/3)

各項目の測定試料は、○印の付いている番号の試料を測定して下さい。

調査項目		試料番号					
		1 (冷凍)	3 (冷凍)	5 (冷蔵)	6 (冷蔵)	8 (冷蔵)	34 (冷蔵)
生化学検査	Glu	○	○				
	TB	○	○				
	DB	○	○				
	Na	○	○				
	K	○	○				
	Cl	○	○				
	Ca	○	○				
	IP	○	○				
	Fe	○	○				
	Mg	○	○				
	UN	○	○				
	Cr	○	○				
	UA	○	○				
	TC	○	○				
	TG	○	○				
	HDL-C	○	○				
	LDL-C	○	○				
	AST	○	○				
	ALT	○	○				
	ALP	○	○				
	LD	○	○				
	CK	○	○				
	γ -GT	○	○				
	AMY	○	○				
	ChE	○	○				
	TP	○	○				
	Alb	○	○				
	CRP	○	○				
	IgG	○	○				
	IgA	○	○				
	IgM	○	○				
	NH ₃	○	○				
蛋白分画検査	ALB%	○			○		
	α 1-G	○			○		
	α 2-G	○			○		
	β 1-G	○			○		
	β 2-G	○			○		
	γ -G	○			○		
HbA1c				○		○	

◎ 調査項目一覧表 (2/3)

各項目の測定試料は、○印の付いている番号の試料を測定して下さい。

調査項目		試料番号					
		8 (冷蔵)	34 (冷蔵)	9 (冷凍)	10 (冷凍)	12 (冷蔵)	13 (冷蔵)
血球数算定	WBC	○	○				
	RBC	○	○				
	Hb	○	○				
	Ht	○	○				
	MCV	○	○				
	MCH	○	○				
	MCHC	○	○				
	BA%	○	○				
	EO%	○	○				
	LY%	○	○				
	MO%	○	○				
	NEU%,GRA%	○	○				
	PLT	○	○				
尿検査	尿蛋白定性・半定量			○	○		
	尿糖定性・半定量			○	○		
	尿潜血定性・半定量			○	○		
	尿蛋白定量			○	○		
	尿糖定量			○	○		
	尿沈渣（フォト）	（精度管理システム上にてフォト公開）					
血漿蛋白	C3					○	○
	C4					○	○
	RF					○	○

◎ 調査項目一覧表 (3/3)

各項目の測定試料は、○印の付いている番号の試料を測定して下さい。

調査項目		試料番号					
		15 (冷凍)	16 (冷凍)	21 (冷蔵)	22 (冷蔵)	51(血球) (冷蔵)	51(血漿) (冷蔵)
イムノアッセイ	β2-MG	○	○				
	IgE	○	○				
	フェリチン	○	○				
	CEA	○	○				
	AFP	○	○				
	CA19-9	○	○				
	PSA	○	○				
	CA125	○	○				
	TSH	○	○				
	FT3	○	○				
	FT4	○	○				
	インスリン	○	○				
輸血関連	血液型検査			○	○	△	△
	不規則抗体検査			○	○		
	交差適合試験			○	○		

* 試料 51 は福岡県医師会精度管理調査にご参加の施設のみご報告して下さい。

調査項目		試料番号					
		31 (冷蔵)	32 (冷蔵)	41 (冷蔵)	42 (冷蔵)	43 (冷蔵)	44 (冷蔵)
凝固検査	PT(%)	○	○				
	PT(秒)	○	○				
	PT(INR)	○	○				
	APTT	○	○				
	Fib	○	○				
免疫血清	梅毒 TP			○	○		
	HBs					○	○
	HCV					○	○
生理検査・心電図		(精度管理システム上にてフォト公開)					

精度管理調査
各種一覽
(生化学部門)

【生化学検査】

No	項目名	単位	測定方法名
1	Glu	mg/dL	ドライケミストリー その他 HK 法 GOD 法 GOD 電極法 GK 法 GDH 法
2	TB	mg/dL	酵素法 バナジン酸法 ドライケミストリー その他
3	DB	mg/dL	酵素法 バナジン酸法 ドライケミストリー その他
4	Na	mmol/L	非希釈法 希釈法 ドライケミストリー その他
5	K	mmol/L	非希釈法 希釈法 ドライケミストリー その他
6	Cl	mmol/L	非希釈法 希釈法 ドライケミストリー その他
7	Ca	mg/dL	電極法 酵素法 ドライケミストリー その他 クロロホスホナゾⅢ法 アルセナゾⅢ法 OCPC 法 NM-BAPTA 法 MXB 法
8	IP	mg/dL	酵素法 モリブデン酸・UV法 モリブデン・ブルー法 ドライケミストリー その他

No	項目名	単位	測定方法名
9	Fe	$\mu\text{g/dL}$	フェロジン法 バソフェナントロリン法 ドライケミストリー その他 Nitroso-PSAP 法 Ferene 色素法
10	Mg	mg/dL	色素法 酵素法 ドライケミストリー その他
11	UN	mg/dL	ドライケミストリー その他 インドフェノール法 アンモニア未消去 アンモニア消去法
12	Cr	mg/dL	酵素法 ドライケミストリー その他 Jaffe 法
13	UA	mg/dL	ドライケミストリー その他 ウリカーゼ UV 法 ウリカーゼ POD 法
14	TC	mg/dL	ドライケミストリー その他 COD-POD 法 CDH-UV 法
15	TG	mg/dL	酵素比色法【未消去法】 酵素比色法【消去法】 酵素 UV 法【消去法】 ドライケミストリー その他
16	HDL-C	mg/dL	直接法（積水メディカル） 直接法（その他） 選択的抑制法（ミナリスメディカル） 選択消去法（富士フイルム和光純薬） リントングステン酸・マグネシウム塩沈殿法 ドライケミストリー その他
17	LDL-C	mg/dL	直接法（積水メディカル） 直接法（その他） 選択的可溶化法（ミナリスメディカル） 選択消去法（富士フイルム和光純薬） その他
18	AST	U/L	ドライケミストリー その他 POP・TOOS 法 JSCC 法 IFCC 法

No	項目名	単位	測定方法名
19	ALT	U/L	ドライケミストリー その他 POP・TOOS 法 JSCC 法 IFCC 法
20	ALP	U/L	ドライケミストリー その他 JSCC 法【EAE 緩衝液】 IFCC 法【AMP 緩衝液】
21	LD	U/L	ドライケミストリー その他 Wroblewski 法【P→L】 JSCC 法【L→P】 IFCC 法【L→P】
22	CK	U/L	ドライケミストリー その他 JSCC 法 IFCC 法
23	γ -GT	U/L	ドライケミストリー その他 JSCC 法
24	AMY	U/L	ドライケミストリー その他【G3-CNP】 JSCC 法【ベンジル-G5-pNP】 JSCC 法【Gal-G5-pNP】 JSCC 法【Gal-G2-CNP】 JSCC 法【G5-CNP】 JSCC 法【G3-CNP】 JSCC 法【4,6 エチリデン-G7-pNP】
25	ChE	U/L	ドライケミストリー その他【ブチリルチオコリン】 その他 JSCC 法【ベンゾイルチオコリン】 JSCC 法【p-ヒドロキシベンゾイルコリン】 JSCC 法【5-メチル-2 テノイルチオコリン】 JSCC 法【2,3-ジメトキシベンゾイルチオコリン】
26	TP	g/dL	ビューレット法 その他 ドライケミストリー
27	Alb	g/dL	ドライケミストリー その他 BCP 法 BCP 改良法 BCG 法

No	項目名	単位	測定方法名
31	HbA1c	%	HPLC 法 その他 酵素法 免疫比濁法
32	CRP	mg/dL	免疫比濁法 ラテックス比濁法 ラテックス比ろう法 ドライケミストリー その他
33	NH ₃	μg/dL	酵素法 ドライケミストリー法 その他

【血漿蛋白】

No	項目名	単位	測定方法名
33	IgG	mg/dL	免疫比濁法（汎用機器） 免疫比濁法（専用機器） 免疫比ろう法 ラテックス比ろう法 その他
34	IgA	mg/dL	免疫比濁法（汎用機器） 免疫比濁法（専用機器） 免疫比ろう法 ラテックス比ろう法 その他
35	IgM	mg/dL	免疫比濁法（汎用機器） 免疫比濁法（専用機器） 免疫比ろう法 ラテックス比ろう法 その他
36	C3	mg/dL	免疫比濁法（汎用機器） 免疫比濁法（専用機器） 免疫比ろう法 その他
37	C4	mg/dL	免疫比濁法（汎用機器） 免疫比濁法（専用機器） 免疫比ろう法 その他
38	RF	IU/mL	免疫比濁法（汎用機器） ラテックス比濁法（汎用機器） ラテックス比濁法（専用機器） ラテックス比ろう法 その他

【検量方法】

項目名	検量方法名
生化学検査 血漿蛋白	溶媒ベース水溶液の標準物質を使用（表示値で使用）
	血清ベースの標準液を使用（表示値で使用）
	血清ベースの標準液を使用（表示値以外で使用）
	市販管理血清などを使用（表示値以外で使用）
	市販管理血清などを使用（表示値で使用）
	溶媒ベース水溶液の標準物質を使用（表示値以外で使用）
	その他
HbA1c	メーカー指定／NGSP 準拠
	メーカー指定／日本糖尿病学会(JDS)準拠
	メーカー独自標準品
	その他
	メーカー指定以外／NGSP 準拠

※ 相関から求めた係数、系列病院で合わせるための係数を乗じている場合は表示値以外の中から選んでください

【血球数算定】

No.	項目名	単位名
29	WBC	$10^3/\mu\text{L}$
	RBC	$10^6/\mu\text{L}$
	Hb	g/dL
	Ht	%
	MCV	fL
	MCH	pg
	MCHC	g/dL
	PLT	$10^3/\mu\text{L}$
	NEU%,GRA%	%
	LY%	%
	MO%	%
	EO%	%
	BA%	%

※ 測定単位は指定となっているので、報告時にはご注意ください。

【尿検査】

	尿半定量結果値
尿蛋白	± : 15mg/dL (10~20mg/dL)
	1+ : 30mg/dL (30~70mg/dL)
	2+ : 100mg/dL (100~200mg/dL)
	3+ : 300mg/dL (300~600mg/dL)
	4+ : 1000mg/dL 以上
尿糖	± : 50mg/dL (30~50mg/dL)
	1+ : 100mg/dL (70~100mg/dL)
	2+ : 250mg/dL (150~250mg/dL)
	2+ : 300mg/dL (ロシュのみ)
	3+ : 500mg/dL (300~500mg/dL)
	3+ : 1000mg/dL (ロシュのみ)
	4+ : 1000mg/dL 以上
尿潜血	± : 0.03mg/dL
	1+ : 0.06mg/dL (0.06~0.1mg/dL)
	2+ : 0.15mg/dL (0.15~0.5mg/dL)
	3+ : 0.75mg/dL (0.70mg/dL 以上)

※シーメンス HCD の試験紙は尿潜血検査に関してヘモグロビン濃度を併記していないため、定性値をもとに選択してください。

○ 尿蛋白定量

入力欄	詳細
分析手技 (測定方法)	用手法(分光光度計)
	自動分析機
機器名	機器メーカーを選択後、プルダウンリストより選択してください
標準物質の 由来	人血清
	人アルブミン
	牛アルブミン
	その他

○ 尿糖定量

入力欄	詳細
分析手技 (測定方法)	用手法(分光光度計)
	自動分析機
機器名	機器メーカーを選択後、プルダウンリストより選択してください

【凝固検査】

項目名	試薬名	メーカー名
PT(%)	コアグジェネシス PT	LSI メディエンス
	コアガチェック (MDT)	MDT
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン HS PLUS	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン リコンビナント	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル リコンビプラスチン	アイ・エル・ジャパン
	ドライヘマト PT	エイアンドティー
	コアグサーチ PT	エイアンドティー
	デイドイノビン	シスメックス
	トロンボチェック PT	シスメックス
	トロンボチェック PT プラス	シスメックス
	トロンボレル S	シスメックス
	レボヘム PT	シスメックス
	その他	その他
	CRB.トロンボプラスチンD	バシフィックヘモスタシス
	コバス t システム PT Rec	ロシュ・ダイアグノスティックス
	ニコプラスチン	三光純薬
	リオプラスチン	持田製薬
	コアグピア PT-Liquid	積水メディカル
	コアグピア PT-N	積水メディカル
	日立分析装置 3500 用 コアグピア PT-N	積水メディカル
	シンプラスチン HTF	ミナリスメディカル
	シンプラスチン エクセル	ミナリスメディカル
	シンプラスチン エクセル S	ミナリスメディカル
	STA ネオプラスチン R	富士レビオ
	STA 試薬シリーズ PT	富士レビオ
	ネオプラスチン プラス	富士レビオ

項目名	試薬名	メーカー名
PT(秒)	コアグジェネシス PT	LSI メディエンス
	コアガチェック (MDT)	MDT
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン HS PLUS	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン リコンビナント	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル リコンビプラスチン	アイ・エル・ジャパン
	ドライヘマト PT	エイアンドティー
	コアグサーチ PT	エイアンドティー
	デイドイノビン	シスメックス
	トロンボチェック PT	シスメックス
	トロンボチェック PT プラス	シスメックス
	トロンボレル S	シスメックス
	レボヘム PT	シスメックス
	その他	その他
	CRB.トロンボプラスチンD	バシフィックヘモスタシス
	コバス t システム PT Rec	ロシュ・ダイアグノスティックス
	ニコプラスチン	三光純薬
	リオプラスチン	持田製薬
	コアグピア PT-Liquid	積水メディカル
	コアグピア PT-N	積水メディカル
	日立分析装置 3500 用 コアグピア PT-N	積水メディカル
	シンプラスチン エクセル	ミナリスメディカル
	シンプラスチン エクセル S	ミナリスメディカル
	シンプラスチン HTF	ミナリスメディカル
	ネオプラスチン プラス	富士レビオ
	STA ネオプラスチン R	富士レビオ
	STA 試薬シリーズ PT	富士レビオ

項目名	試薬名	メーカー名
PT(INR)	コアグジェネシス PT	LSI メディエンス
	コアガチェック (MDT)	MDT
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン HS PLUS	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン リコンビナント	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル リコンビプラスチン	アイ・エル・ジャパン
	コアグサーチ PT	エイアンドティー
	ドライヘマト PT	エイアンドティー
	レボヘム PT	シスメックス
	デイドイノビン	シスメックス
	トロンボチェック PT	シスメックス
	トロンボチェック PT プラス	シスメックス
	トロンボレル S	シスメックス
	その他	その他
	CRB.トロンボプラスチンD	パシフィックヘモスタシス
	コバス t システム PT Rec	ロシュ・ダイアグノスティックス
	ニコプラスチン	三光純薬
	リオプラスチン	持田製薬
	コアグピア PT-Liquid	積水メディカル
	コアグピア PT-N	積水メディカル
	日立分析装置 3500 用 コアグピア PT-N	積水メディカル
	シンプラスチン HTF	ミナリスメディカル
	シンプラスチン エクセル	ミナリスメディカル
	シンプラスチン エクセル S	ミナリスメディカル
	STA 試薬シリーズ PT	富士レビオ
	STA ネオプラスチン R	富士レビオ
	ネオプラスチン プラス	富士レビオ

項目名	試薬名	メーカー名
APTT	コアグジェネシス APTT	LSI メディエンス
	ヒーモスアイエル シンサシル APTT	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル APTT-SP	アイ・エル・ジャパン
	コアグサーチ APTT	エイアンドティー
	ドライヘマト APTT	エイアンドティー
	アクチンF S L	シスメックス
	レポヘム APTT SLA	シスメックス
	データファイ APTT	シスメックス
	データファイ APTT (FS)	シスメックス
	トロンボチェック APTT	シスメックス
	トロンボチェック APTT (S)	シスメックス
	トロンボチェック APTT-SLA	シスメックス
	パトロンチン SL	シスメックス
	その他	その他
	コバス t システム APTT HS	ロシュ・ダイアグノスティックス
	コバス t システム APTT LS	ロシュ・ダイアグノスティックス
	コバス t システム APTT MS	ロシュ・ダイアグノスティックス
	コアグピア APTT-N	積水メディカル
	日立分析装置 3500 用 コアグピア APTT-N	積水メディカル
	プラテリン LII	ミナリスメディカル
	プラテリン LSII	ミナリスメディカル
	PTT 試薬「FR」	富士レビオ
	STA 試薬 セファスクリーン(APTT)	富士レビオ
	STA 試薬シリーズ APTT	富士レビオ

項目名	試薬名	メーカー名
Fib	コアグジェネシス Fbg	LSI メディエンス
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン HS PLUS	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル フィブ・C (II)	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル リコンビプラスチン	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン リコンビナント	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル Fib	アイ・エル・ジャパン
	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン	アイ・エル・ジャパン
	コアグサーチ Fib	エイアンドティー
	ドライヘマト Fib	エイアンドティー
	マルチフィブリンU	シスメックス
	データファイ フィブリノゲン	シスメックス
	トロンボチェック・Fib	シスメックス
	トロンボチェック・Fib (L)	シスメックス
	N-アッセイ T I A F i b ニットーボー	ニットーボー
	コバステシステム フィブリノーゲン	ロシュ・ダイアグノスティックス
	コアグピア Fbg	積水メディカル
	日立分析装置 3500 用 コアグピア Fbg	積水メディカル
	フィブリクイック MDA	ミナリスメディカル
	トリニクロット フィブリノーゲンキット	ミナリスメディカル
	STA リキッド-Fib	富士レビオ
	STA 試薬シリーズ フィブリノーゲン II 「FR」	富士レビオ
	フィブリプレスト AII	富士レビオ

○血液凝固分析機器

機器メーカーを選択後、プルダウンリストより選択してください。

精度管理調査
各種一覽
(血清部門)

【免疫血清 HBs 抗原 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
アーキテクト・HBsAgQT・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
Alinity HBsAg QT・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
バイオクリット-HBs	イムノクロマト法	アドテック
ダイナスクリーン HBsAg 2 Plus	イムノクロマト法	アリーア メディカル
ダイナスクリーン HBsAg II	イムノクロマト法	アリーア メディカル
バイダスアッセイキット HBs 抗原 II	蛍光酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
アキュラシード HBs 抗原	化学発光酵素免疫測定法	富士フイルム和光純薬
スフィアライト HBs 抗原	化学発光酵素免疫測定法	富士フイルム和光純薬
エスプライン HBsAg	イムノクロマト法	富士レビオ
ルミパルス II HBsAg (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス II HBsAg (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス HBsAg-HQ (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス HBsAg-HQ (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト HBsAg	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト HBsAg-HQ	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ステイシア CLEIA HBs 抗原	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
クイックチェイサーHBsAg	イムノクロマト法	ミズホメディ
イムノフローラ HB s Ag	酵素免疫測定法	小野薬品
ビトロス HBs 抗原 ES	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 HBsAg II quant II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 HBsAg II quant II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 HBsAg II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 HBsAg II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エンザイグノスト HBsAg6.0	酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
ケミルミ HBs 抗原 II (アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
ケミルミ HBs 抗原 II (ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
クイックビーズ HBs 抗原	逆受身粒子凝集法	シノテスト
その他	その他	その他
HISCL HBsAg 試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
イムニス HBAgEIA	酵素免疫測定法	特殊免疫研究所
マイセル II HBsAg	逆受身赤血球凝集法	特殊免疫研究所
ST E テスト 「TOSOH」II (HBsAg)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー

【免疫血清 HCV 抗体 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
Alinity HCV・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・HCV・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
バイダス アッセイキット HCV 抗体	酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
オーソ HCV Ab PA テスト II	受身粒子凝集法	富士レビオ
ルミパルス HCV (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス HCV (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス II オーソ HCV (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス II オーソ HCV (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト HCV	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレストオーソ HCV	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
エバテスト HCVA b	蛍光免疫測定法	日水製薬
ビトロス HCV 抗体	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
オーソ・HCV Ab LPIA テスト III	ラテックス比濁法（専用機器）	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
オーソ・クイックチェイサーHCV Ab	イムノクロマト法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 Anti-HCV II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 Anti-HCV II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
アキュラシード HCV	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード HCV [II]	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
スフィアライト HCV 抗体	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
ケミルミ HCV 抗体(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ HCV 抗体(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
HIISCL HCV Ab II 試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
HIISCL HCV Ab 試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
その他	その他	その他
ST E テスト「TOSOH」 II (HCVA b)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
A I A-パックス CL HCVA b	化学発光酵素免疫測定法	東ソー

【免疫血清 梅毒（TP 抗体）測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
Alinity TPAb・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・TPAb・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ダイナスクリーン TPAb	イムノクロマト法	アリーア メディカル
イムノティクルス オート TP2	ラテックス比濁法（汎用機器）	エイアンドティー
イムノティクルス オート 3 TP	ラテックス比濁法（汎用機器）	エイアンドティー
スフィアライト TP	化学発光酵素免疫測定法	富士フィルム和光純薬
エスプライン TP	イムノクロマト法	富士レビオ
セロディア-TP	受身赤血球凝集法	富士レビオ
セロディア-TP・PA	受身粒子凝集法	富士レビオ
ルミパルス II TP-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト TP	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
梅毒 HA 抗原	受身赤血球凝集法	富士レビオ
ラピディアオート TP	ラテックス比濁法（汎用機器）	富士レビオ
ルミパルス II TP-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
LPIA・TP テスト	ラテックス比濁法（専用機器）	LSI メディエンス
エルピアエース TP 抗体	ラテックス比濁法（汎用機器）	LSI メディエンス
クイックチェイサーTPAb	イムノクロマト法	ミズホメディ
TP クロマト (KW)	イムノクロマト法	ミズホメディ
ラナTPオート	ラテックス比濁法（汎用機器）	日本化薬
ビトロス TP 抗体	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 Anti-TP(e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 Anti-TP(e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
コバスシステム用メディエース TPLA	ラテックス比濁法（専用機器）	積水メディカル
RDS 用メディエース TPLA	ラテックス比濁法（汎用機器）	積水メディカル
メディエース T P L A	ラテックス比濁法（汎用機器）	積水メディカル
LASAY オート TPAb	ラテックス比濁法（汎用機器）	シマ研究所
ケミルミ TP 抗体(梅毒)(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
ケミルミ TP 抗体(梅毒) (ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)

アキュラスオート TP 抗体（梅毒）-A	ラテックス比濁法（汎用機器）	シノテスト
その他	その他	その他
HIISCL TPAb 試薬	化学発光酵素免疫測定法	日本凍結乾燥研究所
エルジア・FS-1200 用 TP オート・F (KW)	蛍光酵素免疫測定法	日本凍結乾燥研究所
TP オート・F (KW)	蛍光酵素免疫測定法	日本凍結乾燥研究所
STE テスト「TOSOH」II (TPAb)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー

【イムノアッセイ β 2-MG 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
エルピアエース β 2M II	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
エルピアエース β 2M(S) II	蛍光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
イムノティクルス オート β 2-m	その他	エイアンドティー
NA-ラテックス β 2-マイクログロブリン II	ラテックス比濁法（汎用機器）	シーメンス(デイドベ어링)
アテリカ CH β 2-マイクログロブリン (B2M)	ラテックス比濁法（汎用機器）	シーメンス(デイドベ어링)
フレックスカートリッジ β 2-マイクログロブリン V	ラテックス比濁法（専用機器）	シーメンス(デイドベ어링)
その他	免疫比ろう法	その他
BMG-ラテックス X1 「生研」	ラテックス比濁法（汎用機器）	デンカ
β 2MG-L II オート 「TBA」	ラテックス比濁法（汎用機器）	デンカ
N-アッセイ LA β 2-MG-H II ニットーポー	ラテックス比濁法（汎用機器）	ニットーポー
バイダス アッセイキット β 2-マイクログロブリン	ラテックス比濁法（汎用機器）	ビオメリュー・ジャパン
IMMAGE イムノケミストリーシステム β 2 マイクログロブリン (B2MX)試薬	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
LZ テスト「栄研 β 2-M	ラテックス比ろう法	栄研化学
スペリオル BMG- II	ラテックス比濁法（専用機器）	岸本医科学研究所
ランピア ラテックス β 2-マイクログロブリン	ラテックス比ろう法	極東製薬
スフィアライト β 2-m	ラテックス比濁法（専用機器）	三洋化成
AIA-パック CL β 2-M	ラテックス比濁法（汎用機器）	東ソー
ST E テスト 「TOSOH」 II (BMG)	ラテックス比濁法（汎用機器）	東ソー
LT オートワコー β 2m	蛍光酵素免疫測定法	富士フィルム和光純薬
ルミパルス β 2M-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト β 2-M	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス β 2M-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ IgE 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
イアトロエース I g E II	ラテックス免疫比濁法	LSI メディエンス
イムノキャップ 総 IgE	蛍光酵素免疫測定法	サーモフィッシュヤーダイアグノスティックス株式会社
ケミルミ IgE	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
シーメンス・イムライズ トータル I g E III	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
シーメンス・イムライズ トータル I g E III 2000	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ IgE V	酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
N-ラテックス IgE II	ラテックスネフェロメトリー法	シーメンス(デイドベーリング)
ランリーム I g E	ラテックス免疫比濁法	シスメックス
I g E TM L オート「TBA」	ラテックス免疫比濁法	デンカ
IgE TM ラテックス「生研」	ラテックス免疫比濁法	デンカ
N-アッセイ LA I g E - S ニットーボー	ラテックス免疫比濁法	ニットーボー
エクルーシス試薬 IgE	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
スフィアライト I g E	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
A I A TM パック CL I g E	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
Eテスト「TOSOH」II (I g E II)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
オリトン IgE「ケミファ」総 IgE	EIA 法	日本ケミファ
LT オートワコー IgE	ラテックス免疫比濁法	富士フイルム和光純薬
ルミパルス IgE	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト I g E	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ フェリチン 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
イアトロ フェリチン	ラテックス比濁法（汎用機器）	LSI メディエンス
Alinity フェリチン・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・フェリチン	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ネスコート GC フェリチン	金コロイド凝集法（汎用機器）	アルフレッサファーマ
ビトロス フェリチン	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
N-ラテックスフェリチンキット	ラテックス比濁法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ フェリチン(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ フェリチン	酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ フェリチン V	LOCI 法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ フェリチン(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
その他	その他	その他
Ferritin-L オート「TBA」N	ラテックス比濁法（汎用機器）	デンカ
FER-ラテックス NX「生研」	ラテックス比濁法（汎用機器）	デンカ
FER-ラテックス RX「生研」	免疫比濁法（汎用機器）	デンカ
FER-ラテックス X2「生研」CN	ラテックス比濁法（汎用機器）	デンカ
INTEGRA 用 FER-ラテックス X1	ラテックス比濁法（専用機器）	デンカ
N-アッセイ LA フェリチン	ラテックス比濁法（汎用機器）	デンカ
N-アッセイ LA FER-S ニットーボー	ラテックス比濁法（汎用機器）	ニットーボー
バイダスアッセイキット FERRITIN	蛍光酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
アクセス フェリチン	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
コバス試薬 FERR Gen.4	ラテックス比濁法（専用機器）	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬フェリチン (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬フェリチン(e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
LZ テスト‘栄研’FER	ラテックス比濁法（汎用機器）	栄研化学
ランピア ラテックス フェリチン N	ラテックス比濁法（汎用機器）	極東製薬
スフィアライト フェリチン	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
HISCL フェリチン試薬	化学発光酵素免疫測定法	協和ファーマケミカル株式会社
ルミノマスター「FER」	化学発光酵素免疫測定法	第一三共ヘルスケア
AIA-パック CL フェリチン	化学発光酵素免疫測定法	東ソー

STE テスト「TOSOH」II（フェリチン）	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
LT オートワコー フェリチン	ラテックス比濁法（汎用機器）	富士フィルム和光純薬
ルミパルス フェリチン-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス フェリチン-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト フェリチン	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
フェリチン テスト「目黒」		目黒研究所

【イムノアッセイ CEA 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
ステインシア C L E I A C E A	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
LPIA・CEA テスト S	ラテックス比濁法（汎用機器）	LSI メディエンス
Alinity CEA・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・CEA・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス CEA	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
HISCL CEA 試薬	化学発光酵素免疫測定法	カイノス
ケミルミ CEA(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ CEA(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
その他	その他	その他
バイダス アッセイキット C E A S	酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
アクセス CEA	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 CEA II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 CEA II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
アキュラシード CEA	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
スフィアライト CEA (識別記号 B)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
AIA-パック CL CEA	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」II CEA	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ルミパルス CEA-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス CEA-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト CEA	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ AFP 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
リアゴノスト c AFP	放射性免疫測定法	CISD
ステイシア C L E I A A F P	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
イアトロメイト AFP II	ラテックス比濁法 (汎用機器)	LSI メディエンス
Alinity AFP・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・AFP・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス AFP	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
HISCL AFP 試薬	化学発光酵素免疫測定法	カイノス
ケミルミ AFP(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
ケミルミ AFP(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
シーメンス・イムライズ AFP IV	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
その他	その他	その他
バイダス アッセイキット AFP	蛍光酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
アクセス AFP	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 AFP II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 AFP II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
スフィアライト A F P	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード AFP	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
AIA - パック CL AFP	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト 「TOSOH」II (AFP)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ミュータスワコー AFP-L3	LBA 法	富士フィルム和光純薬
ミュータスワコー AFP-L3・i50	LBA 法	富士フィルム和光純薬
ルミパルス AFP-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス AFP-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト AFP	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ CA19-9 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
ステイシア C L E I A CA19-9	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
Alinity CA19-9 XR・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・CA19-9 XR・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス CA19-9	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
HISCL CA19-9 II 試薬	化学発光酵素免疫測定法	カイノス
HISCL CA19-9 試薬	化学発光酵素免疫測定法	カイノス
ケミルミ CA19-9(A)(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ CA19-9(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ CA19-9(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
その他	その他	その他
アクセス GI モニター	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 CA19-9 II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 CA19-9 II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
スフィアライト CA19-9(N)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード CA19-9	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
AIA-パック CL CA19-9	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」II (CA19-9)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ルミパルス CA19-9-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス CA19-9-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト CA19-9	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ PSA 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
Alinity PSA・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・トータル PSA・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス PSAII	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
HISCL PSA 試薬	化学発光酵素免疫測定法	カイノス
シーメンス・イムライズ HS-PSA II	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
シーメンス・イムライズ PSAIII	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ 前立腺特異抗原 TPSA	酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ PSA(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ PSA(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
その他	その他	その他
バイダス アッセイキット T P S A	酵素免疫測定法	バイオメリュー・ジャパン
アクセス ハイブリテック PSA	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 PSA II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 PSA II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
LZ テスト‘栄研’PSA	ラテックス比濁法 (汎用機器)	栄研化学
サイアス ラテックス PSA	ラテックス比濁法 (汎用機器)	関東化学
スフィアライト PSA [II]	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード PSA (識別記号 B)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
ナノピア PSA	ラテックス比濁法 (汎用機器)	積水メディカル
ナノピア PSA-N	ラテックス比濁法	積水メディカル
AIA-パック CL PSA	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」II (PSA II)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ピオキューブ PSA	化学発光酵素免疫測定法	東洋紡
LT オートワコー PSA (2)	ラテックス比濁法 (汎用機器)	富士フィルム和光純薬
ルミパルス PSA-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス PSA-N (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト PSA	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ CA125 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
Alinity CA125 II・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・CA125 II・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス CA125 II	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
HI-SCL CA125 II試薬	化学発光酵素免疫測定法	カイノス
ケミルミ CA125(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ CA125 II(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
その他	その他	その他
アクセス OV モニター	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 CA125 II (e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 CA125 II (e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
スフィアライト CA125 (識別記号 W)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード CA125	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
AIA-バック CL CA125	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」II (CA125)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ルミパルス CA125 II (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス CA125 II (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト CA125 II	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ TSH 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
ステイシア CLEIA TSH	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
Alinity TSH・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・TSH	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス TSH	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
ビトロス TSHIII	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
ケミルミ TSH II(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ TSHIIIウルトラ(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ TSHIIIウルトラ(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ TSH(EIA)	酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ TSHV(LOCI)	LOCI 法	シーメンス(デイドベーリング)
HISCL TSH 試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
その他	その他	その他
バイダス アッセイキット TSH	蛍光酵素免疫測定法	バイオメリュー・ジャパン
アクセス TSH (3rd IS)	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 TSH(e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 TSH(e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
AIA-パック CL TSH	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」II (TSH)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
スフィアライト TSH III(B)	化学発光酵素免疫測定法	富士フイルム和光純薬
アキュラシード TSH	化学発光酵素免疫測定法	富士フイルム和光純薬
ルミパルス TSH-III (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス TSH-III (S,G600 II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト TSH	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ FT3 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
ステイシア CLEIA FT3	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
Alinity フリーT3・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト FT3・アボット (6pt)	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・フリーT3 (2pt)	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス FT3	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
ビトロス フリーT3Ⅱ	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
ケミルミ FT3(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
ケミルミ FT3(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベ어링)
フレックスカートリッジ FT3V(LOCI)	LOCI 法	シーメンス(デイドベ어링)
HISCL FT3 試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
その他	その他	その他
バイダス アッセイキット FT3	蛍光酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
アクセス FreeT3	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 FT3Ⅲ(e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 FT3Ⅲ(e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
スフィアライト FT3-(S) (識別記号 W)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード FT3	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
AIA-パック CL FT3	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」Ⅱ (iFT3)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ルミパルス FT3-Ⅲ (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス FT3-Ⅲ (S,G600Ⅱ)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト FT3	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ FT4 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
ステイシア CLEIA FT4	化学発光酵素免疫測定法	LSI メディエンス
Alinity フリーT4・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
アーキテクト・FT4・アボット	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス FT4	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
ケミルミ E-FT4(アテリカ)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
ケミルミ E-FT4(ケンタウルス)	化学発光免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ FT4(EIA)	酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
フレックスカートリッジ FT4V(LOCI)	LOCI 法	シーメンス(デイドベーリング)
HIISCL FT4 試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
その他	その他	その他
バイダス アッセイキット FT4N	蛍光酵素免疫測定法	ビオメリュー・ジャパン
アクセス FreeT4	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬 FT4III(e801)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
エクルーシス試薬 FT4III(e411.e601.e602)	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
スフィアライト FT4-(S) (識別記号 C)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード FT4 (識別記号 B)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード FT4 (識別記号 II)	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード FT4	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
AIA-パック CL FT4	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
ST E テスト「TOSOH」II (FT4)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ルミパルス FT4-N (G1200)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルス FT4-N (S,G600II)	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト FT4	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

【イムノアッセイ インスリン 測定試薬一覧】

試薬名	測定方法名	メーカー名
アーキテクト・インスリン	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
インスリン・アボット (A l i n i t y)	化学発光免疫測定法	アボットジャパン
ビトロス インスリン	化学発光酵素免疫測定法	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
シーメンス・イムライズ インスリン II	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
シーメンス・イムライズ インスリン II 2000	化学発光酵素免疫測定法	シーメンス(デイドベーリング)
H I S C L インスリン試薬	化学発光酵素免疫測定法	シスメックス
ランリーム I n s u l i n	ラテックス免疫比濁法	シスメックス
エルジア・F-インスリン (ネオ)	EIA 法	シスメックス
LASAY オート インスリン	ラテックス凝集免疫比濁法	シマ研究所
その他	その他	その他
アクセス インスリン	化学発光酵素免疫測定法	ベックマン・コールター
エクルーシス試薬	電気化学発光免疫測定法	ロシュ・ダイアグノスティックス
サイアス INSULIN II	ラテックス免疫比濁法	関東化学
スフィアライト インシュリン [II]	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
アキュラシード インスリン	化学発光酵素免疫測定法	三洋化成
ノルディア インスリン	ラテックス免疫比濁法	積水メディカル
AIA-パックCL インスリン	化学発光酵素免疫測定法	東ソー
Eテスト「TOSOH」II (IRI)	蛍光酵素免疫測定法	東ソー
ケミルミ インスリン (ADVIA 用)	化学発光免疫測定法	ミナリスメディカル
ケミルミ インスリン (アテリカ)	化学発光免疫測定法	ミナリスメディカル
ルミパルス インシュリン-N	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ
ルミパルスプレスト インシュリン	化学発光酵素免疫測定法	富士レビオ

試薬メーカー 一覧

メーカー名
CISD
LSI メディエンス
MDT
アークレイ
アイ・エル・ジャパン
アドテック
アボットジャパン
アリーア メディカル
アルフレッサファーマ
エイアンドティー
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
オリエンタル酵母工業
カイノス
キヤノンメディカルシステムズ
サーモフィッシュャーダイアグノスティックス株式会社
サカエ
シーメンス(デイドベ어링)
シスメックス
シノテスト
シマ研究所
セロテック
その他
テクノメディカ
デンカ
ニッターボー
ニプロ
パシフィックヘモスタシス
パナソニック ヘルスケア
ビオメリュー・ジャパン
ベックマン・コールター
ホリバ(堀場製作所)
ミズホメディ
ユーエムエー
ラジオメーターレーディング
ロシュ・ダイアグノスティックス

メーカー名
栄研化学
関東化学
岸本医科学研究所
極東製薬
三光純薬
三洋化成
三和化学
持田製薬
自家調製
小野薬品
常光
積水メディカル
第一ファインケミカル
第一三共ヘルスケア
東ソー
東京貿易メディシス
東洋紡
特殊免疫研究所
日水製薬
日本ケミファ
日本バイオラッド
日本ビーシージーサプライ
日本化薬
日本光電
日本電子
日本凍結乾燥研究所
日立
ミナリスメディカル
富士フィルムメディカル
富士フィルム和光純薬
富士レビオ
扶桑薬品
明治製薬
目黒研究所